

新型コロナウイルス感染症対応に関する要望書

今般、新型コロナウイルス感染症の症状がある区民から、区議会に対し、区内の発熱外来に受診することができないとの意見が多数寄せられている。

発熱外来に受診できない要因の一つとして、市販の抗原定性検査キット等による自主検査で陽性となった場合でも、発熱外来を受診しなければ確定診断とならないことが挙げられる。

この現状を踏まえ、都では、自主検査で判明した陽性者がオンラインでの医師の診断が可能となるよう、陽性者登録センターを開設するなどの新たな取組が進められている。感染が急拡大している中において、必要な方に適切な医療が届くようにするためには、発熱外来の受診体制を拡充するなどの重層的な体制作りが求められる。

これまで厳しい医療状況の中、江東区医師会の尽力によって多くの区民の命が守られ、感染拡大の防止につながっていることについて、本区議会として敬意を表するものである。しかしながら、引き続き区民の安全・安心を守るためには、江東区医師会の更なる協力が不可欠である。

よって、本区議会は、江東区医師会に対して、区民が窮している現状に鑑み、地域医療体制の継続的な確保を図れるよう協力を賜りたく要望するものである。

令和4年8月10日

江東区議会議長 山本 香代子

江東区医師会長

浅川 洋 殿